

IV 個別報告

IV 個別報告

1 ヘリの運行・整備

(1) 活動内容

(平成9年10月22日)

5:30	出発準備等
6:30	麴町研修所出発 (マイクロバス)
8:00	成田空港 着
	結団式等 (VIP ROOM)
	ミーティング
	出国手続き等
11:25	成田空港 発 (全日空 NH 927便)
	(以後現地時間)
17:05	スカルノハッタ国際空港 着
	入国手続き等
	荷物確認整理等
17:55	発 (大型バス)
18:30	プレジデント ホテル 着
19:15	服部公使主催レセプション
	全隊員
	大使館関係者
	JICA 関係者
	森林火災防止協力関係者
21:00	
21:30	全体会議
22:30	

(平成9年10月23日)

- 9:30 JICA 事務所にて、全体ミーティング
派遣隊の情報伝達システムの徹底
各部の活動時について問題点等の検討
- 10:00 各部長以上は、関係省庁等に出向
その他団員は、引き続き個別ミーティング
- 12:20
- 13:30
- その他団員は、引き続き個別ミーティング
- 17:00 24日以降の日程報告を受け、当面は27日の環境大臣視察に向け、
準備する。
27日の環境大臣視察に向けての資料作成
- 18:30 石倉隊員（医師）、京極隊員（看護婦）による現地活動時のアドバイス
- 19:15 全体会議
全隊員
大使館関係者
JICA 関係者
森林火災防止加外 関係者
- 21:00

(平成9年10月24日)

- 9:30 JICA 事務所にて、全体ミーティング
パイロット班は、ハリム空港視察
整備班は、ランブン空港活動時の問題点の検討 (ランブン先遣隊用)
- 12:00
- 13:00 ランブン先遣隊出発 (15:15 MZ-1676 便)
- 13:30 スカルノハッタ空港 (ガルーダ航空関係者と調整)
アントノフによる空輸が決定され、ガルーダ航空関係者 (ソルトノ氏)
と最終調整 (大使館八木一等書記官対応)
施設等の確認
一時保管場所
- 16:00
- 17:15 航空部作戦会議
作業手順等の確認
- 21:00

(平成9年10月25日)

3:00	機体積み卸し準備等 (スカルノハッタ空港 ガルーダ航空格納庫) アントノフからの積み卸し作業 機体, 荷物	
9:30	機体組立 燃料補給 飛行前点検	荷物の仕分け — ガルーダ保管 — ハリム経由ランブun — 直接ランブun
11:35	グラndラン & ホバ チェック (11:40 ~ 11:50)	
14:00	H T V 系統の取り付け & 試験飛行 (15:35 ~ 15:55) 燃料補給	
15:00	ランブunに向け車輛出発す 飛行後点検 & 後片付け等	
17:40	プレジデント ホテル 着	
18:30	全体会議	
20:00		

燃料補給量合計 700 リッター

(平成9年10月25日)

乗組員等		時間	
<p>09 10 11 12 13 14 15 16 17</p>			
<p>09:00 ~ 08:10 に 0-ターの積み降ろし作業完了</p>			
<p>0-ター取り付け</p>		<p>試験 1140 1150 (P:池田、鈴木) (M:吉田、弓削)</p>	
<p>08:10 に 0-ターの積み降ろし作業完了</p>		<p>試験 1535 1555 (P:池田、鈴木) (M:上西、弓削)</p>	
<p>スカル/ハツタ 空港 (GARUDA HANGAR No.1 のI/F/D) OAT33 °C</p>		<p>試験機器のTEST ・良好</p>	
<p>スカル/ハツタ 空港 (GARUDA HANGAR No.1 のI/F/D)</p>		<p>試験 1135 1145</p>	
<p>0-ター取り付け</p>		<p>試験 08:10 に0-ターの積み降ろし作業完了</p>	
<p>スカル/ハツタ 空港 (GARUDA HANGAR No.1 のI/F/D)</p>		<p>0-ター装着のTEST ・良好 ・OAT32 °C</p>	
<p>1 2機の0-ターは、アトワ機で02:35 にスカル/ハツタ空港 (スカル) へ着陸。0-ター前までのTAXI許可が出ず一般駐機場に駐機したため、移動に時間がかかった。 2 0-ターを降機する時、0-ターガードが地面に着いてしまうので積み降ろしに時間がかかった。</p>			

活動総括
(上段: 東京消防庁)
(下段: 名古屋消防局)

本日飛行時間
0 : 30
0 : 10

派遣時累計
0 : 30
0 : 10

活動内訳

試験飛行
今日 0:30(2回)
累計 0:10(1回)
今日 0:30(1回)
累計 0:10(1回)

燃料補給量
今日 700 L(回)
累計 L(回)
今日 700 L(2回)
累計 L(回)

<p>東京消防庁 (かちめ) JA 9 6 9 2</p>			
<p>任務内容: 試験飛行</p>			
任務等	午前	午後	
機長	鈴木(美)	鈴木(美)	
操縦士	池田	池田	
整備士	吉田(選) 弓削	上西 弓削	
他			
装備品	<p>HIV 装置、赤外線感知器</p>		

<p>名古屋消防局 (り2) JA 6 7 7 9</p>			
<p>任務内容: 試験飛行</p>			
任務等	午前	午後	
機長	原		
操縦士	石川		
整備士	山田、高橋		
他			
装備品	<p>びりか</p>		

備考

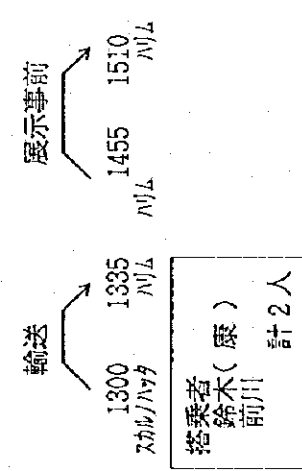
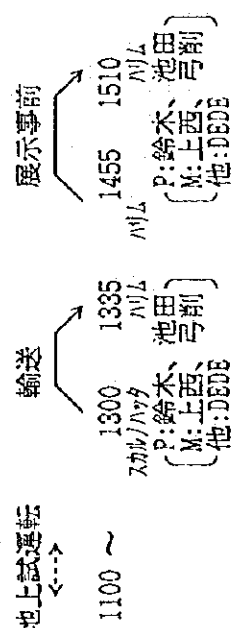
(平成9年10月26日)

9:10	ホテル出発
10:00	スカルノハッタ空港 ガルーダハンガー 飛行前点検等 HTV 全システム準備 & 確認
11:00	グランドラン実施
12:00	
13:00	スカルノハッタ空港からハリム空港へ空路移動 (13:00 ~ 13:35) 27日の環境大臣視察に向けてのリハーサル等 (デモ飛行含む) (14:55 ~ 15:10)
16:00	飛行後点検
17:00	ホテル 着
18:00	全体会議
20:30	

燃料補給量合計 0 リッター

(平成9年10月26日)

乗組員等		時間	
東京消防庁(かもめ) JA 9692		活動総括 (下段:名古屋消防局)	
任務内容: 移動及び展示事前訓練		本日飛行時間	0:50
任務等	午前 午後	派遣時累計	0:50
機長	鈴木(美) 鈴木(美)		1:20
操縦士	池田 池田	活動内訳	1:00
整備士	上西 上西		
他	DEDE DEDE		
装備品	HIV 装置、赤外線感知器		
名古屋消防局(刈2) JA 6779		輸送	今日 0:35(1回)
任務内容: 移動及び展示事前訓練		累計	0:35(1回) 2人
任務等	午前 午後		
機長	原	展示(事前)	今日 0:15(1回)
操縦士	石川	累計	0:15(1回)
整備士	山田、高橋		
他	鈴木(康)・前川(東消)	燃料精給量	今日 0.2(0回)
装備品	びりかろ		0(回)
			700.2(2回)
			0(回)



- 1 WILL:スカル/ハヤタ(シカガハ)空港 WILL: AVL空港
- 2 飛行計画書は、2時間前までに提出しなければならぬ。

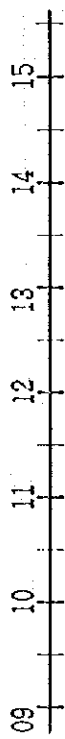
(平成9年10月27日)

7:30	全員ホテル出発 (チェックアウト)		
8:10	ハリム空港 ハジターミナル 飛行前点検等 グランドラン実施 HTV 全システム準備 & 確認 式典準備等		
10:00	歓迎式典及びデモンストレーション (10:35 ~ 10:50)		
11:00			
13:00	ハリム空港からランブン空港へ空路移動 (13:00 ~ 14:10) 燃料補給		
15:50	飛行後点検	13:45	本隊 (バス移動組)
		17:00	フェリー発
16:30	ホテル 着	18:55	フェリー着
17:15	航空部ミーティング & 全体会議	21:00	ランブン シェラトイン ホテル 着 全体会議
21:30		21:30	

燃料補給量合計 460 リッター

(平成9年10月27日)

乗組員等		時間																			
<p>東京消防庁(かちめ) JA 9 6 9 2</p> <p>任務内容: 展示飛行、移動</p> <table border="1"> <tr> <td>任務等</td> <td>午前</td> <td>午後</td> </tr> <tr> <td>機長</td> <td>鈴木(康)</td> <td>鈴木(美)</td> </tr> <tr> <td>操縦士</td> <td>鈴木(美)</td> <td>池田</td> </tr> <tr> <td>整備士</td> <td>上西 弓削</td> <td>高田(達) 弓削</td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>DEDE</td> <td>DEDE</td> </tr> <tr> <td>装備品</td> <td colspan="2">HTV 装置、赤外線感知器</td> </tr> </table>				任務等	午前	午後	機長	鈴木(康)	鈴木(美)	操縦士	鈴木(美)	池田	整備士	上西 弓削	高田(達) 弓削	他	DEDE	DEDE	装備品	HTV 装置、赤外線感知器	
任務等	午前	午後																			
機長	鈴木(康)	鈴木(美)																			
操縦士	鈴木(美)	池田																			
整備士	上西 弓削	高田(達) 弓削																			
他	DEDE	DEDE																			
装備品	HTV 装置、赤外線感知器																				
<p>名古屋消防局(な)2 JA 6 7 7 9</p> <p>任務内容: 展示飛行、移動</p> <table border="1"> <tr> <td>任務等</td> <td>午前</td> <td>午後</td> </tr> <tr> <td>機長</td> <td>原</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操縦士</td> <td>石川</td> <td></td> </tr> <tr> <td>整備士</td> <td>山田、高橋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>他</td> <td colspan="2">鈴木(康)(東京)、真倉、柴田(ANAM)</td> </tr> <tr> <td>装備品</td> <td colspan="2">E74カマ</td> </tr> </table>				任務等	午前	午後	機長	原		操縦士	石川		整備士	山田、高橋		他	鈴木(康)(東京)、真倉、柴田(ANAM)		装備品	E74カマ	
任務等	午前	午後																			
機長	原																				
操縦士	石川																				
整備士	山田、高橋																				
他	鈴木(康)(東京)、真倉、柴田(ANAM)																				
装備品	E74カマ																				
<p>活動総括 (上段: 東京消防庁) (下段: 名古屋消防局)</p>																					
本日飛行時間		1 : 25																			
派遣時 累計		1 : 25																			
派遣時 累計		2 : 45																			
派遣時 累計		2 : 25																			
活動内訳																					
輸送	今日	1:10(1回)																			
輸送	累計	1:10(1回) 3人																			
輸送	今日	1:45(2回)																			
輸送	累計	1:45(2回) 5人																			
展示(事前)	今日	0:15(1回)																			
展示(事前)	累計	0:15(1回)																			
展示(事前)	今日	0:15(1回)																			
展示(事前)	累計	0:30(2回)																			
展示(事前)	今日	0:30(2回)																			
展示(事前)	累計	0:30(2回)																			
燃料補給量	今日	460 L(1回)																			
燃料補給量	累計	1,160 L(2回)																			
燃料補給量	今日	L(回)																			
燃料補給量	累計	L(回)																			



展示飛行

1035 1050
AVL
P: 鈴木、鈴木
M: 上西、弓削
他: DEDE

輸送

1300 1410
AVL
P: 鈴木、池田
M: 吉田、弓削
他: DEDE

展示飛行

1035 1050
AVL

輸送

1300 1410
AVL

搭乗者(康)、真倉、鈴木、柴田 計3人

備考

(平成9年10月28日)

9:10	ホテルシェラトイン 1F 会議室 ランブン先遣隊等からのランブンの状況説明
9:50	石倉医師よりの、健康管理に関する講義
10:00	現地連絡会議 豪州隊との関連事項等の調整
11:30	
13:00	ホテルシェラトイン 出発 ランブン空港指揮本部設置 飛行前点検等
14:25	ハリム空港 離陸し、情報収集に飛ぶ (14:25 ~ 16:05) 燃料補給
16:30	飛行後点検
17:15	ホテル 着
21:00	消防会議 全体会議
23:30	

燃料補給量合計 400 リッター

(平成9年10月28日)

乗組員等		時間	
任務内容：情報収集		14 15 16 17	
任務等	午前 午後	<p>情報収集</p> <p>1425 1605</p> <p>(P:伊藤、鈴木(康) M:上西、細川 他:DEDE)</p>	
機長	鈴木(康)		
操縦士	伊藤		
整備士	上西 細川		
他	DEDE		
装備品	HTV 装置、赤外線感知器		
任務内容：情報収集		14 15 16 17	
任務等	午前 午後	<p>情報収集</p> <p>1425 1605</p> <p>搭乗者 石田団長、林副団長、 野澤隊長、市村副隊長 計4人</p>	
機長	原 石川		
操縦士	山田、高橋		
整備士	石田団長、消防3人		
他			
装備品	ビオカワ		
東京消防庁(かちめ) JA9592			
名古屋消防局(ウ2) JA9779			
乗組員等		時間	
活動総括 (上段:東京消防庁) (下段:名古屋消防局)		14 15 16 17	
本日飛行時間	1:40	<p>情報収集</p> <p>1:40(1回 4人)</p>	
派遣時 累計	4:05		
活動内訳			
情報収集	今日 累計	今日 累計	
燃料補給量	今日 累計	今日 累計	
	400 L (1 回)	400 L (1 回)	
	1,000 L (1 回)	1,000 L (1 回)	
	1,550 L (3 回)	1,550 L (3 回)	
	6 (回)	6 (回)	
備考		1 ラバの西側、山岳地帯の情報収集(第1回目)を実施した。	

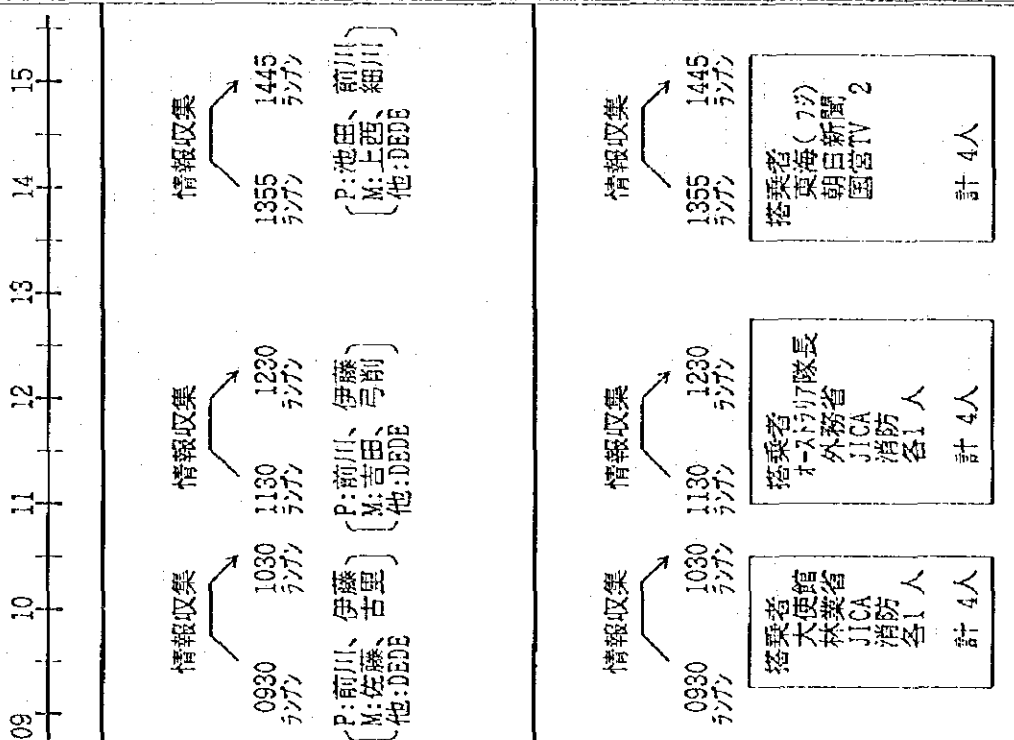
(平成9年10月29日)

8:00	ホテル出発
8:40	ランブロン空港 飛行前点検等 HTV 全システム準備 & 確認
9:30	調査 & 情報収集実施 (9:30 ~ 10:30)
10:30	燃料補給
11:30	情報収集実施 (11:30 ~ 12:30) 豪州隊との連携
12:30	燃料補給
13:55	情報収集 & 豪州隊機の誘導 (13:55 ~ 14:45) 燃料補給
14:45	
15:40	飛行後点検等
16:50	ホテル 着
17:15	航空部会議 全体会議
20:30	

燃料補給量合計 900 リッター

(平成9年10月29日)

乗組員等		時間	
東京消防庁(かちめ) JA 9 6 9 2		09 10 11 12 13 14 15	
活動総括 (東京消防庁) (下段:名古屋消防局)			
任務内容: 情報収集			
任務等	午前 午後		
機長	前川		
操縦士	伊藤 池田		
整備士	佐藤、古里、吉田、弓削		
他	DEDE		
装備品	HIV 装置、赤外線感知器、カマ		
任務内容: 情報収集			
任務等	午前 午後		
機長	原		
操縦士	石川		
整備士	山田、高橋		
他	林業省(1名)、外務省各1名、消防各2名、報道3名 計11人		
装備品	防カマ、カマ		
名古屋消防局(カ2) JA 6 7 7 9			
1 第2、3、4回目情報収集を実施(西側山岳地帯)			



本日飛行時間	2:50
派遣時 累計	2:50
活動内訳	
情報収集 今日	2:50(3回)
情報収集 累計	2:50(3回 12人)
情報収集 今日	4:30(4回)
情報収集 累計	4:30(4回 16人)
燃料補給量 今日	900 L(3回)
燃料補給量 累計	800 L(3回)
燃料補給量 今日	2,450 L(6回)
燃料補給量 累計	2,450 L(6回)

(平成9年10月30日)

8:00	ホテル出発
8:40	ランブロン空港 飛行前点検等 HTV 全システム準備 & 確認
9:30	調査 & 情報収集実施 (9:30 ~ 10:30)
10:30	燃料補給
11:30	情報収集実施 (11:30 ~ 12:30) 豪州消防チームとの連携
12:30	燃料補給
14:05	情報収集 & 豪州隊機の誘導 (14:05 ~ 15:05) 燃料補給
15:05	
15:40	飛行後点検等
16:30	ホテル 着
17:15	豪州隊評価会 航空部会議 全体会議
21:00	

燃料補給量合計 900 リッター

(平成9年10月30日)

乗組員等		時間	活動総括	
東京消防庁(かもめ) JA 9692			東京消防庁 (下段:名古屋消防局)	
任務内容: 情報収集、空撮			本日飛行時間	3:00
任務等	午前 午後		派遣時	2:00
機長	鈴木(美) 伊藤		累計	10:15
操縦士	池田 鈴木(美)		活動内訳	8:55
整備士	佐藤、古里 吉田(達)		今日	3:00(3回 1人)
他	DEDE 林副団長		累計	2:00(2回 10人)
装備品	HTV装置、赤外線感知器、カメラ		今日	7:30(7回 1人)
任務内容: 展示飛行、移動			累計	6:30(6回 26人)
任務等	午前 午後		今日	
機長	原		累計	
操縦士	石川		今日	
整備士	山田、高橋		累計	
他	消防8、JICA、大使館各1人 計10人		今日	900 ㄠ(3回)
装備品	カメラ、カメラ		累計	600 ㄠ(2回)
			今日	330 ㄠ(9回)
			累計	ㄠ(回)

時間	活動内容	搭乗者	情報収集
09:30	情報収集	鈴木、池田 P:鈴木、池田 M:佐藤、古里 他:DEDE	1030 池田、古里 1130 鈴木、池田 P:鈴木、池田 M:上西、細川 他:DEDE
10:30	情報収集	消防4 JICA 1 計5人	1030 池田、古里 1130 鈴木、池田 P:鈴木、池田 M:上西、細川 他:DEDE
11:30	情報収集	消防4 大使館 1 計5人	1130 鈴木、池田 1230 鈴木、池田 P:鈴木、池田 M:上西、細川 他:DEDE
12:30	情報収集	消防4 大使館 1 計5人	1230 鈴木、池田 1505 鈴木、池田 P:伊藤、鈴木 M:吉田、弓削 他:DEDE

時間	活動内容	搭乗者	情報収集
09:30	情報収集	消防4 JICA 1 計5人	1030 池田、古里 1130 鈴木、池田 P:鈴木、池田 M:上西、細川 他:DEDE
10:30	情報収集	消防4 大使館 1 計5人	1030 池田、古里 1130 鈴木、池田 P:鈴木、池田 M:上西、細川 他:DEDE
11:30	情報収集	消防4 大使館 1 計5人	1130 鈴木、池田 1230 鈴木、池田 P:鈴木、池田 M:上西、細川 他:DEDE
12:30	情報収集	消防4 大使館 1 計5人	1230 鈴木、池田 1505 鈴木、池田 P:伊藤、鈴木 M:吉田、弓削 他:DEDE

1 第5、6、7回目の情報収集(西側山岳地帯)
2 奈良消防チームへの情報提供、空撮を実施した。
3 名古屋は、午後休み。

(平成9年10月31日)

8:00	ホテル出発
8:40	ランブン空港 飛行前点検等 HTV 全システム準備 & 確認
9:30	調査 & 情報収集実施 (9:30 ~ 11:00)
11:00	燃料補給
12:25	情報収集実施 (12:25 ~ 13:55) 燃料補給
13:55	
14:40	飛行後点検等
15:30	ホテル 着
17:15	航空部会議 全体会議
20:00	

燃料補給量合計 1000 リッター

(平成9年10月31日)

乗組員等		時間	
東京消防庁(かまめ) JA 9692		09 10 11 12 13 14 15	
任務内容: 情報収集		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>0930 ライト</p> <p>搭乗者: 前川、鈴木</p> <p>機長: 鈴木(康)</p> <p>整備士: 池田</p> <p>整備士: 佐古里</p> <p>他: DEDE</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>1100 ライト</p> <p>搭乗者: 水野、野村</p> <p>機長: 鈴木(康)</p> <p>整備士: 池田</p> <p>整備士: 吉田(達)</p> <p>他: DEDE</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>1225 ライト</p> <p>搭乗者: 水野、野村</p> <p>機長: 鈴木(康)</p> <p>整備士: 池田</p> <p>整備士: 吉田(達)</p> <p>他: DEDE</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>1355 ライト</p> <p>搭乗者: 水野、野村</p> <p>機長: 鈴木(康)</p> <p>整備士: 池田</p> <p>整備士: 吉田(達)</p> <p>他: DEDE</p> </div> </div>	
任務等	午後		
機長	鈴木(康)		
整備士	池田		
整備士	吉田(達)		
他	DEDE		
装備品	HTV 装置、赤外線感知器、カマ		
名古屋消防局(カ)2 JA 6779		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>0930 ライト</p> <p>搭乗者: 水野、野村</p> <p>機長: 鈴木(康)</p> <p>整備士: 池田</p> <p>整備士: 吉田(達)</p> <p>他: DEDE</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>1100 ライト</p> <p>搭乗者: 水野、野村</p> <p>機長: 鈴木(康)</p> <p>整備士: 池田</p> <p>整備士: 吉田(達)</p> <p>他: DEDE</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>1225 ライト</p> <p>搭乗者: 水野、野村</p> <p>機長: 鈴木(康)</p> <p>整備士: 池田</p> <p>整備士: 吉田(達)</p> <p>他: DEDE</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>1355 ライト</p> <p>搭乗者: 水野、野村</p> <p>機長: 鈴木(康)</p> <p>整備士: 池田</p> <p>整備士: 吉田(達)</p> <p>他: DEDE</p> </div> </div>	
任務等	午後		
機長	原		
整備士	石川		
整備士	山田、高橋		
他	消防8、ANAX 1、Dr 1 計10人		
装備品	ETCカマ、カマ		

活動 総括 (上段: 東京消防庁) (下段: 名古屋消防局)	本日飛行時間	3:00
派遣時 累計	本日飛行時間	3:00
活動内 記	派遣時 累計	13:15
情報収集	派遣時 累計	11:55
今日	今日	3:00(2回)
累計	今日	3:00(2回 10人)
今日	累計	10:30(9回 1人)
累計	今日	9:30(8回 36人)
燃料補給量	今日	1,000 L(2回)
	累計	600 L(2回)
	今日	6,360 L(11回)
	累計	L(回)

1 第8回目(山岳地帯)、9回目(東地域; 公園他園北側)の情報収集を実施した。
2 午前中は、豪州消防チームへの情報提供及び空撮を実施した。

(平成9年11月1日)

8:00	ホテル出発
8:40	ランブン空港 飛行前点検等 HTV 全システム準備 & 確認
9:45	調査 & 情報収集実施 (9:45 ~ 11:30)
11:30	燃料補給
12:50	情報収集実施 (12:50 ~ 14:20) 燃料補給
14:20	
15:00	飛行後点検等
15:40	ホテル 着
17:15	航空部会議 全体会議
20:00	

燃料補給量合計 1000 リッター

(平成9年11月1日)

乗組員等		時間
東京消防庁(かもめ) JA 9992		09 10 11 12 13 14 15
任務内容: 情報収集		
任務等	午前 午後	
機長	鈴木(美) 前川	
操縦士	池田 池田	
整備士	上西 前 佐藤 藤	
他	DEDE DEDE	
装備品	HTV装置、赤外線感知器 マイク、カメラ	
名古屋消防局(カ) JA 6779		
任務内容: 情報収集		
任務等	午前 午後	
機長	原	
操縦士	石川	
整備士	山田、高橋	
他	森林警察、大使館各1、消防各3 計5人	
装備品	カメラ、カマ	
活動総括 (上段: 東京消防庁) (下段: 名古屋消防局)		
本日飛行時間	3:15	
派遣時 累計	2:05	
活動内訳	13:30	
	14:00	
情報収集	今日 1:25(1回 5人)	
累計	13:45(11回 1人)	
試験飛行	今日 0	
累計	0:40(1回)	
燃料補給量	今日 0:30(1回)	
累計	0:50(2回)	
	今日 1,000 L(2回)	
	600 L(2回)	
	累計 5,360 L(13回)	
	6(回)	
1	第10回目情報収集: 山岳地帯 RAD280/80NM~RAD300/80NM	
2	第11回目情報収集: 東側泥炭層 RAD045/83NM~RAD095/30NM 名古屋隊は、油圧系統の故障探知の為、午前中試験飛行	

(平成9年11月2日)

8:00	ホテル出発
8:40	ランブン空港 飛行前点検等 HTV 全システム準備 & 確認
9:30	調査 & 情報収集実施 (9:30 ~ 11:00)
11:00	燃料補給
12:25	情報収集実施 (12:25 ~ 13:40) 燃料補給
13:40	
14:40	飛行後点検等
15:50	ホテル 着
17:15	航空部会議 全体会議
19:30	

燃料補給量合計 700 リッター

(平成9年11月 2日)

乗組員等		時間		活動総括			
東京消防庁(かきめ) JA 9 5 9 2		09 10 11 12 13 14 15		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活動総括 上段:東京消防庁 (下段:名古屋消防局)</p> </div>			
任務内容: 情報収集 任務等: 午前 午後 機長: 前川 前川 操縦士: 伊藤 鈴木(美) 整備士: 吉田(達) 弓削 上西 細川 他: DEDE DEDE 市村(消防)		<div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>0930 1100 1225 1340 1400 1530</p> <p>情報収集</p> </div>		今日 2:45(2回 1人) 累計 1:30(1回 4人) 16:30(13回 2人) 12:25(10回 45人)			
装備品: HTV 装置、赤外線感知器、カ行		<div style="text-align: center;"> <p>情報収集</p> <p>0930 1100 1225 1340 1400 1530</p> <p>情報収集</p> </div>		今日 2:45(2回 1人) 累計 1:30(1回 4人) 16:30(13回 2人) 12:25(10回 45人)			
名古屋消防局(カ) JA 6 7 7 9		任務内容: 展示飛行、移動 任務等: 午前 午後 機長: 原 操縦士: 石川 整備士: 山田、高橋 他: 消防3、大使館1人 計 4人		<div style="text-align: center;"> <p>試験飛行</p> <p>0930 1100</p> </div>		今日 2:45(2回 1人) 累計 1:30(1回 4人) 16:30(13回 2人) 12:25(10回 45人)	
装備品: カ行、カ行		<div style="text-align: center;"> <p>試験飛行</p> <p>0930 1100</p> </div>		今日 2:45(2回 1人) 累計 1:30(1回 4人) 16:30(13回 2人) 12:25(10回 45人)			
備考: 1 名古屋は、午後休み				今日 2:45(2回 1人) 累計 1:30(1回 4人) 16:30(13回 2人) 12:25(10回 45人)			
燃料補給量 今日 700 L(2回) 累計 600 L(1回) 今日 6,060 L(15回) 累計 6(回)				今日 2:45(2回 1人) 累計 1:30(1回 4人) 16:30(13回 2人) 12:25(10回 45人)			

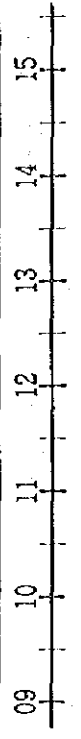
(平成9年11月3日)

8:00	ホテル出発
8:40	ランブun空港 飛行前点検等 HTV 全システム準備 & 確認
9:30	輸 送 (9:30 ~ 10:30)
10:30	燃料補給
10:45	輸 送 (10:45 ~ 11:30) 燃料補給
11:30	
13:00	輸 送 (13:00 ~ 14:45)
13:52	
13:55	輸 送
14:45	燃料補給
15:40	飛行後点検等
16:20	ホテル 着
17:15	航空部会議
19:30	

燃料補給量合計 1100 リッター

(平成9年11月3日)

乗組員等		時間																													
<p>東京消防庁(かもめ) JA 96992</p> <table border="1"> <tr> <td>任務内容: 輸送</td> <td>午後</td> <td>午後</td> <td></td> </tr> <tr> <td>任務等</td> <td>鈴木(美)</td> <td>伊藤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機長</td> <td>鈴木(美)</td> <td>鈴木(美)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操縦士</td> <td>上西川</td> <td>佐吉里</td> <td></td> </tr> <tr> <td>整備士</td> <td>池田</td> <td>鈴木(美)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>DEDE、石田、水野</td> <td>DEDE、石田</td> <td></td> </tr> <tr> <td>装備品</td> <td colspan="3">HTV装置、赤外線感知器、カマ</td> </tr> </table>				任務内容: 輸送	午後	午後		任務等	鈴木(美)	伊藤		機長	鈴木(美)	鈴木(美)		操縦士	上西川	佐吉里		整備士	池田	鈴木(美)		他	DEDE、石田、水野	DEDE、石田		装備品	HTV装置、赤外線感知器、カマ		
任務内容: 輸送	午後	午後																													
任務等	鈴木(美)	伊藤																													
機長	鈴木(美)	鈴木(美)																													
操縦士	上西川	佐吉里																													
整備士	池田	鈴木(美)																													
他	DEDE、石田、水野	DEDE、石田																													
装備品	HTV装置、赤外線感知器、カマ																														
<p>名古屋消防局(カ) JA 6779</p> <table border="1"> <tr> <td>任務内容: 輸送</td> <td>午後</td> <td>午後</td> <td></td> </tr> <tr> <td>任務等</td> <td>原</td> <td>原</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機長</td> <td>石川</td> <td>石川</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操縦士</td> <td>山田、高橋</td> <td>山田、高橋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>整備士</td> <td>消防20人</td> <td>消防20人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>装備品</td> <td colspan="3">缶がら、カマ</td> </tr> </table>				任務内容: 輸送	午後	午後		任務等	原	原		機長	石川	石川		操縦士	山田、高橋	山田、高橋		整備士	消防20人	消防20人		他				装備品	缶がら、カマ		
任務内容: 輸送	午後	午後																													
任務等	原	原																													
機長	石川	石川																													
操縦士	山田、高橋	山田、高橋																													
整備士	消防20人	消防20人																													
他																															
装備品	缶がら、カマ																														
<p>活動総括 (上段: 東京消防庁) (下段: 名古屋消防局)</p>																															
本日飛行時間		3:30																													
派遣時		3:45																													
累計		22:45																													
累計		19:15																													
活動内訳																															
輸送	今日	3:30(4回 3人)																													
輸送	累計	3:45(4回 20人)																													
輸送	今日	5:15(6回 3人)																													
輸送	累計	5:30(6回 25人)																													
燃料補給量																															
今日	1,100 L(2回)																														
累計	500 L(2回)																														
今日	7,160 L(17回)																														
累計	6(回)																														



09:00 無線機等 (石田) 10:00 30 10:45 11:05 11:30, 13:00 29 52 14:19 20 14:45

搭乗者: 鈴木、池田、上西、細川 (P:鈴木、池田、M:上西、細川、他:DEDE) 搭乗者: 石田、水野

搭乗者: 伊藤、鈴木、吉里 (P:伊藤、鈴木、吉里、M:佐藤、他:DEDE) 搭乗者: 石田

09:30 10:06 09 30 10:45 11:08 11:30 13:00 29 52 14:20 22 14:45

搭乗者: 団長、隊長、副隊長 (P:隊長、M:副隊長、他:) 搭乗者: 宮川、隊長、副隊長

搭乗者: 中島、高田、深瀬、南山 (P:中島、高田、深瀬、南山、M:) 搭乗者: 同

計 10人 計 10人

1 H: 臨時着陸場(S05° 12.66' E105° 49.22' (7/1)カシハ公園内、ラングからRAD085° 38.64NM)
2 泥炭層の現地踏査、採取等実施

備考

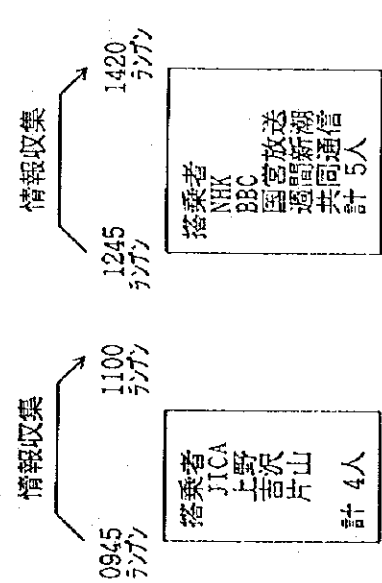
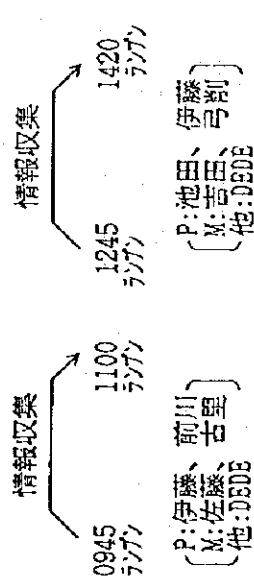
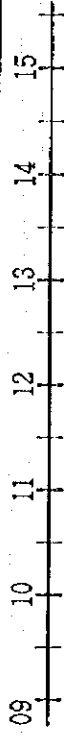
(平成9年11月4日)

7:00	ホテル出発
7:40	ランブロン空港 25時間点検実施 飛行前点検等 HTV 全システム準備 & 確認
9:45	情報収集実施 (9:45 ~ 11:10)
11:10	燃料補給
12:45	情報収集実施 (ワインカンバス方面) (12:45 ~ 14:20) 燃料補給
14:20	
15:20	飛行後点検等
16:00	ホテル 着
17:15	航空部会議
19:30	

燃料補給量合計 900 リッター

(平成9年11月 4日)

乗組員等		時間	活動給括	
東京消防庁(かもめ) JA 9 6 9 2			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (正設: 東京消防庁) (下設: 名古屋消防局) </div>	
任務内容: 情報収集、取材協力			本日飛行時間	2:50
任務等	午前 後		派遣時 累計	25:35
機長	前川 伊藤			22:05
操縦士	伊藤 池田		活動内訳	
整備士	佐藤 吉田(達) 吉田(達) 吉田(達) 吉田(達)		今日	2:50(2回)
他	DEDE		今日	2:50(2回 9人)
装備品	HTV 装置、赤外線感知器 カメラ、カマ		累計	19:20(15回 2人)
名古屋消防局(カ) 2 JA 6 7 7 9			今日	15:15(12回 54人)
任務内容: 情報収集、取材協力			今日	
任務等	午前 午後		今日	
機長	原		累計	
操縦士	石川		今日	
整備士	山田、高橋、北村		累計	
他	JICA、ANAM各1、消防2 報道機関5人 計9人		今日	900ℓ(2回)
装備品	カメラ、カマ		今日	700ℓ(2回)
			累計	5,060ℓ(19回)
				ℓ(回)
備	考			
1	第14回目情報収集: 山岳地帯(RAD180~230 / 20NM)			
2	第15回目情報収集、報道協力; 東側泥炭層(RAD085/33NM) 東消1かもめJ25H C K 実施(整備07:00 から対応)			



(平成9年11月5日)

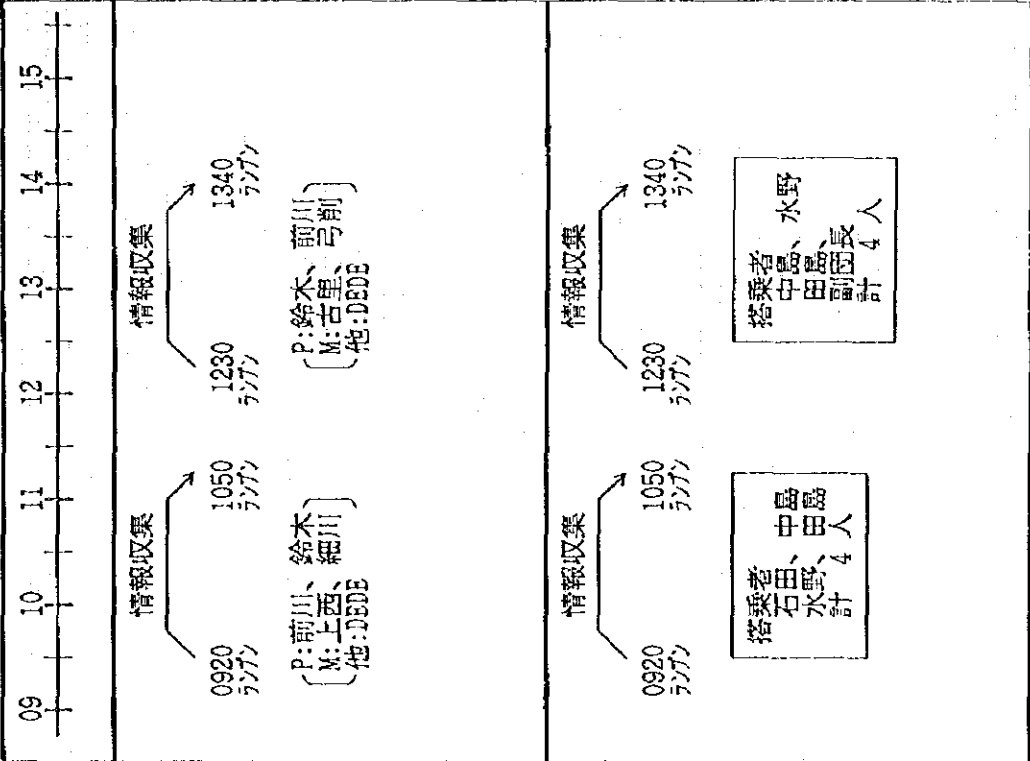
乗組員等		時間		活動総括 (下段:名古屋消防局)	
東京消防庁(かちめ) JA 9 6 9 2		09 10 11 12 13 14 15		活動総括 (下段:名古屋消防局)	
任務内容: 情報収集		午後		本日飛行時間	
任務等	午前 前川	午後		0 : 30	
機長	鈴木(美) 池田	前川		0 : 30	
操縦士	池田	田		派遣時 累計	
整備士	吉田(達) 弓削	上 西川		26 : 05	
他	DEDE	DEDE		22 : 35	
整備品	HTV 装置、赤外線感知器、カマ			活動内訳	
任務内容: 情報収集		午後		今 0:30(1回) 0人	
任務等	午前 原	午後		今日 0:30(1回) 5人	
機長	原	石川		累計 19:50(16回) 2人	
操縦士	山田、高橋			今日 15:45(13回) 59人	
整備士	山田、高橋				
他	消防3、JICA 1人、通訳 1人(B PPT) 計 5人			燃料補給量	
整備品	びん、カマ			今日 200 L(1回)	
				累計 100 L(1回)	
				今日 8:260 L(20回)	
				累計 6(回)	
備考		1 東消は天候不良のため午後中止			
		2 名古屋は午後休み			

情報収集(天候不良のため途中引き返し)
 0945 1015
 (P:池田、鈴木) (M:吉田、弓削) (他:DEDE)
 (山岳地帯のHOT SPOTの再確認)
 天候不良(視程 1Km)のため中止

情報収集(天候不良のため途中引き返し)
 0945 1015
 搭乗者 土井、高山、浅井、JICA、カマ、計 5人

(平成9年11月 6日)

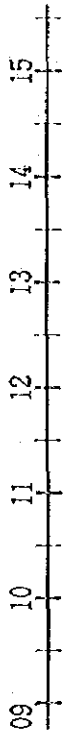
乗組員等		時間	活動総括 (下段:名古屋消防局)	
東京消防庁(かもめ) JA 9692			活動総括 (下段:名古屋消防局)	
任務内容: 輸送			本日飛行時間	2 : 40
任務等	午後		派遣時 累計	28 : 45
機長	鈴木(康)	前川	活動内訳	
操縦士	前川	鈴木(美)	今日	2:40(2回 0人)
整備士	上西	吉原	累計	2:40(2回 8人)
他	DEDE	DEDE	今日	22:30(18回 2人)
装備品	HTV 装置、赤外線感知器 銃、防炎服、カマ		累計	18:25(15回 67人)
名古屋消防局(ウ2) JA 6779			情報収集	
任務内容: 輸送			今日	
任務等	午後		累計	
機長	原		今日	
操縦士	石川		累計	
整備士	山田、高橋		今日	
他	消防8人		累計	
装備品	びん、カマ、カマ		燃料補給量	
備考			今日	800 ℓ (2 回)
備			累計	800 ℓ (2 回)
			今日	9,060 ℓ (22 回)
			累計	ℓ (回)



- 第17回目: 東側、7インガスの公園の情報収集を実施
- 第18回目: 山岳部の火点再C.K
WX: WIND CALM 2km H₂(SMOKE) SCT015 29/22 1015/2999

(平成9年11月 7日)

乗組員等		時間	
<p>東京消防庁(かもめ) JA 9692</p> <p>名古屋消防局(カ) JA 6779</p>			
任務内容: 輸送	午前	午後	
機長	前川	伊藤	
整備士	吉田(達)	上西	
他	DEDE 池田(東消)		
装備品	HTV 装置、赤外線感知器、カマ		
任務内容: 輸送	午前	午後	
機長	原		
操縦士	石川		
整備士	山田、高橋		
他	ANAM 2、東消 2 計 4人		
装備品	エアカマ、カマ		
<p>1 燃料使用量は、全体でドラム74本使用した。</p> <p>2 佐藤、弓削、細川(東消)、柴田、池田、上野(ANAM)、今村(JICA)、DIWIRANTE(通訳)は、MZ1671便13:30発予定(他の便の遅れで16:00頃出発)でジャカワ空港へ移動</p>			



輸送

1245
7:45

1400
スカルハット

搭乗者
池田

(P:伊藤、前川)
(M:吉田、上西)
(他:DEDE)

飛行経路: WIT(7:45) ~ TANDJING TUAL ~ SOEKRNO TUAL ~ SOEKRNO HATTA VOR ~ ULZ ~ スカルハット 空港(カルダラン前)

輸送

1245
7:45

1400
スカルハット

搭乗者
鈴木(康)
古里
真倉
真林 計 4人

活動総括	
本日飛行時間	1:15
派遣時 累計	1:15
	30:00
	26:30
活動内訳	
今日	1:15(1回 4人)
累計	6:30(7回 4人)
今日	6:45(7回 28人)
累計	
燃料補給量	
今日	0.2(0回)
累計	0.2(0回)
今日	3.060.2(22回)
累計	6(回)

(2) 活動項目別実績一覧

項目 運航日	所 属	飛行時間	展示飛行		情報収集		輸送		試験	運航件数	
			(件)	(件)	件	人	件	人		(件)	(件)
25(土)	東消	0:30							2	2	3
	名古屋	0:10							1	1	
26(日)	東消	0:50	1			1	0	1		2	4
	名古屋	0:50	1			1	2	1		2	
27(月)	東消	1:25	1			1	0	1		2	4
	名古屋	1:25	1			1	3	1		2	
28(火)	東消	1:40		1		1	0			1	2
	名古屋	1:40		1		4				1	
29(水)	東消	2:50		3		3	0			3	6
	名古屋	2:50		3		12				3	
30(木)	東消	3:00		3		1				3	5
	名古屋	2:00		2		10				2	
31(金)	東消	3:00		2		0				2	4
	名古屋	3:00		2		10				2	
10月分 小計	東消	13:15	2	9	1	2	0	2	2	15	28
	名古屋	11:55	2	8	36	2	5	1	13		

運航日	項目	所屬	飛行時間	展示飛行		情報収集		輸送		試験	運航件数
				(件)	(件)	件	人	件	人		
1 (土)		東消	3:15			2	0			0	2
		名古屋	2:05			1	5			1	2
2 (日)		東消	2:45			2	1				2
		名古屋	1:30			1	4				1
3 (月)		東消	3:30					4	3		4
		名古屋	3:45					4	20		4
4 (火)		東消	2:50			2	0				2
		名古屋	2:50			2	9				2
5 (水)		東消	0:30			1	0				1
		名古屋	0:30			1	5				1
6 (木)		東消	2:40			2	0				2
		名古屋	2:40			2	8				2
7 (金)		東消	1:15					1	1		1
		名古屋	1:15					1	4		1
11月分小計		東消	16:45			9	1	5	4	0	14
		名古屋	14:35			7	31	5	24	1	13
合計		東消	30:00	2		18	2	7	4	2	29
		名古屋	26:30	2		15	67	7	29	2	26
全体			56:30		33	69	33	33	3	3	55

2 情報分析

(1) 任務

インドネシア・スマトラ島の南部にあるランブン州において、広範囲にわたり延焼中である森林火災の状況を、ヘリコプターから赤外線カメラ等を活用してモニタリングを実施し、ホットスポット（火災の高温域）等に関する情報を収集・分析し、現地で活動中の地上消火隊及び空中消火隊に対し、消火活動に必要な情報提供を行うとともに、調査結果を、州政策等に報告し指導助言を行う。

(2) 活動期間

平成9年10月22日（水）～11月11日（火）

ア ジャカルタにおける活動期間

(ア) 平成9年10月22日（水）から10月27日（月）

(イ) 平成9年11月8日（土）から11月10日（月）

イ ランブン州（バンドルランブン）における活動期間

平成9年10月28日（火）から11月7日（金）

(3) 専門家部等の編成

機 関 名	所 属	階 級	氏 名	任 務
東京消防庁	警 防 部	消防司令長	野 澤 修	隊長(警防部長補)
	警防部警防課	消 防 司 令	市 村 近 夫	副 隊 長
	警防部警防課	消防司令補	深 瀬 八 郎	情報収集担当
	警防部救助課	消防司令補	水 野 一 寿	情報収集担当
	八木救助機動	消防司令補	高 山 幸 夫	情報分析担当
	青梅署警防課	消防司令補	吉 澤 良 男	情報提供担当
横浜市消防局	西署 救急出動課	消 防 司 令	中 島 俊 明	情報分析担当
	市民防災センター	消防司令補	浅 井 仁	情報提供担当
大阪市消防局	司 令 課	消 防 司 令	土 井 一	情報分析担当
	計画課 警防班	消防司令補	片 山 雅 義	情報提供担当
	福島署 13番班	消防司令補	田 島 康 男	情報提供担当

(4) 使用資機材

ア ヘリテレビ可搬受信設備

イ 赤外線撮影装置

ウ 携帯用赤外線カメラ

エ 熱電対温度測定装置

オ カメラ

カ 地形図（50,000分の1）

(5) 活動内容等

ア ジャカルタにおける活動

専門家部はヘリコプターを活用して上空から、森林火災のモニタリングをする任務を負ってインドネシア入りした。現地では、インドネシア政府及び森林火災の防御に携わる消火隊が、どのような情報を基に活動し、また、効果的かつ効率的に活動する

ために必要な情報、あるいは、活動に際し不足している情報は何であるか実態把握に努めた。

このため、最初に滞在したジャカルタでは、おもにBAKORNAS（国家災害対策調整委員会）、BPPT（科学技術応用庁）等、森林火災に携わる関係各機関との協議機会を捉え、協議等に出席した野澤専門家部長を中心に、これらの機関からより多くの森林火災情報を収集することに重点をおいて検討をした。

イ ランブン州（バンドルランブン）における活動

(7) 消火活動を担当しているSATKORLAK（州災害対策本部）、SATLAK（県災害対策本部）、SATGAS（郡または村の災害対策本部）及び豪州消火チーム等が把握している森林災害情報と、これらの機関の活動情報の収集に重点をおき検討した。

(i) 10月29日と30日の両日は、ランブン空港で消火活動中の豪州消火チームと連携し、延焼拡大中である大規模森林火災の空中消火活動の支援を実施した。

(9) 10月29日から11月6日の間は、専門家部の隊員2～3名が交代でヘリコプターに搭乗し、上空から赤外線カメラ等を活用し、ホットスポット（火災の高温域）のモニタリングを実施した。

(x) ヘリコプター搭乗部員以外は、空港指揮本部及び現地対策本部において、モニタリングにより収集したホットスポット等に関する情報を分析し、作成した様式に記録した。

(4) ランブン州の東海岸に位置するワイカンバス国立公園では、延焼中も含め3地点のピート層（泥炭層）採掘を行い、その実態、燃焼状況、温度分布等を赤外線カメラ及び熱電対測定器等により測定調査した。

(6) 活動結果

ア 関係機関等から収集した情報

(7) 森林火災発生時の伝達及び調査状況

a. 森林火災が発生した場合、住民（国民）からSATGAS（郡または村の災害対策本部）、SATLAK（県災害対策本部）、SATKORLAK（州災害対策本部）に通報され、これらの機関からBAKORNAS（国家災害対策調整委員会）に伝達される仕組みとなっている。

b. 観測衛星「ノア」の観測情報をいただき、1日4回観測データが送信され、比較的大きなホットスポット（焼き畑も含まれていた）はこれにより確認できる。

c. 住民から通報される森林火災に関する情報及び、観測衛星「ノア」のホットスポット情報を除き、関係機関による上空からの調査はほとんど実施されておらず、調査及び確認は専ら車両と徒歩により実施されているため、ほとんどの火災が調査未着手の状態であり、消火活動も実施されていない火災が多かった。

(4) ランブン州での消火活動隊及び活動方法

a. インドネシア林業省から390名、郡50名、警察50名及び住民が、背負い式手動ポンプ（援助資材）及び火叩き法等により実施している。

b. 豪州消火チームは、農業散布用軽飛行機（エアトラクター）2機により実施していた。この状況は以下のとおり。

(a) 1度に3 t（薬剤混合）の水を投下することができる。

(b) 飛行機にはパイロット1名しか搭乗できないため、消火ポイントや消火効果

を確認できない状況であった。

(c) SATKORLAK等の調整を受けず、独自の裁量で活動していた。

(e) ランブン州のほとんどの森林火災は、拡大な地域で道路、地形、消火水等の状況から、空中消火が有効と思われた。

イ モニタリングの実施及び結果

(ア) 専門家部では前アの情報を基に、モニタリング方法について検討した結果、現地関係者等から強い要望があった事項を調査様式にまとめ、各ホットスポットごとにこの様式を用いて調査することにした。

(イ) モニタリングはヘイズ（煙害）等の影響でフライト不能な日もあり、8日間で合計12回行い、26カ所のホットスポットを発見し、モニタリング終了の都度、空港指揮本部の地形図にプロットし、森林火災の実態を明らかにした。

(ウ) 26カ所のホットスポットを分析した結果、大規模森林火災に発展もしくは発展の可能性の認められる火災は14カ所であった。

(エ) モニタリング実施に伴う調査及び分析結果は、別添えのとおり。

ウ ピート層（泥炭層）の調査結果

ワイカンバス国立公園で実施した、ピート層（泥炭層）の調査結果は別記のとおり。

(7) 専門家部の活動経過

- 10月22日(水) ・現地連絡会議（部長出席）
- 10月23日(木) ・ヘルノウォ次官補（BAKORNAS）を訪問
 - ・インドロヨノ天然資源開発担当次官他（BPPT）との打合せ
 - ・専門家部検討会（モニタリング計画作成とヘリ受像機の調整）
 - ・現地連絡会議（部長出席）
- 10月24日(金) ・専門家部検討会（歓迎式典後の演技内容の細部検討）
 - ・専門家部検討会（ランブンでのモニタリング計画の細部検討）
 - ・現地連絡会議（部長出席）
- 10月25日(土) ・専門家部検討会（歓迎式典後の演技内容の細部再検討）
 - ・資機材取扱い習熟訓練
- 10月26日(日) ・資機材整備とモニタリング資料の作成
 - ・ハリム空港で歓迎式典後の演技リハーサル
- 10月27日(月) ・インドネシア政府主催による歓迎式典（消火活動技術の指導）
 - ・ハリム空港を出発し、大型バス2台、大型トラック1台でスマトラ島のランブンへ向かう。（約8時間）
 - ・現地ブリーフィング（全員出席）
 - ・現地連絡会議実施（部長出席）
- 10月28日(火) ・ランブン空港指揮本部開設
 - ・モニタリングに関する戦術会議実施
 - ・ランブン空港へ資機材搬入し、現地対策本部設置
- 10月29日(水) ・第1回モニタリングの実施（土井隊員、中島隊員）
 - ・現地連絡会議実施（部長出席）
 - ・専門家部検討会（今後のモニタリング計画、作業ローテーション等を策定）

- 10月30日(木)
 - ・ 専門家部は、現地対策本部と空港指揮本部の2班編成で活動実施
 - ・ 第2回モニタリングの実施(土井隊員、高山隊員、浅井隊員)
 - ・ 第3回モニタリングの実施(土井隊員、高山隊員、浅井隊員)
 - ・ 第4回モニタリングの実施(土井隊員、高山隊員、浅井隊員)
 - ・ 豪州消火チームと空中消火についての検討会実施
 - ・ 現地連絡会実施(部長出席)
 - ・ 専門家部検討会及びモニタリング結果の分析
- 10月31日(金)
 - ・ 第5回モニタリングの実施(中島隊員、水野隊員、田島隊員)
 - ・ 第6回モニタリングの実施(中島隊員、水野隊員、田島隊員)
 - ・ モニタリング結果の分析
 - ・ 現地連絡会議実施(部長出席)
- 11月 1日(土)
 - ・ 第7回モニタリングの実施(深瀬隊員、吉澤隊員、片山隊員)
 - ・ モニタリング結果の分析
 - ・ 現地連絡会議実施(部長出席)
- 11月 2日(日)
 - ・ 第8回モニタリングの実施(土井隊員、高山隊員、浅井隊員)
 - ・ モニタリング結果の分析と中間報告書の作成
 - ・ 現地連絡会議実施(部長出席)
 - ・ モニタリングの分析結果をBPPTを通じ、米国消火チーム等に提供
- 11月 3日(月)
 - ・ ワイカンバス国立公園でピート層(泥炭層)の採掘調査(石田団長、野澤隊長、市村副隊長、中島隊員、深瀬隊員、水野隊員、高山隊員、田島隊員他)
 - ・ モニタリング結果の分析と中間報告書の作成
 - ・ 現地連絡会議実施(部長出席)
- 11月 4日(火)
 - ・ 第9回モニタリングの実施(深瀬隊員、吉澤隊員、片山隊員)
 - ・ モニタリング結果の分析
 - ・ 林副隊長がジャカルタで、スヨノBAKORNAS次官、BPPT関係者、川上大使及び諏訪JICA事務所長に対し中間報告実施
 - ・ 現地連絡会議実施(部長出席)
- 11月 5日(水)
 - ・ 第10回モニタリングの実施(土井隊員、高山隊員、浅井隊員)ヘイズ(煙害)により視界不良のため途中で調査打ち切り
 - ・ モニタリング結果の分析と整理
 - ・ モニタリングの分析結果をBPPTを通じ米国消火チーム等に提供
 - ・ 現地連絡会議実施(部長出席)
- 11月 6日(木)
 - ・ 第11回モニタリングの実施(中島隊員、水野隊員、田島隊員)
 - ・ 第12回モニタリングの実施(中島隊員、水野隊員、田島隊員)
 - ・ モニタリング結果の分析と整理
 - ・ 現地連絡会議実施(部長出席)
- 11月 7日(金)
 - ・ 資機材の撤収
 - ・ モニタリングの分析結果をスワルディ・ラムリランブン州副知事に提供
 - ・ 現地連絡会議実施(部長出席)

- 11月 8日(土) ・ランブン空港から飛行機でジャカルタへ移動
- 11月 9日(日) ・石田団長がBPPT主催の昼食会で、今次援助隊の活動を報告。
この席で、アズワル・アナスBAKORNAS調整大臣名の感謝状及び記念品が、スヨノ同次官から全隊員に授与された。また、土井隊員がモニタリング結果をビデオを使って報告した。
- 11月10日(月) ・団長以下チーム代表5名が、インドネシア大統領官邸、日本大使館、BAKORNAS等を表敬訪問し、モニタリング結果を報告。
- 11月11日(火) ・国際緊急援助隊解団式(成田空港)
・国際消防救助隊解隊式(自治省)

(8) 報告

ア 即報

ランブン空港等で活動中のインドネシア側消火関係者及び豪州消火チームに対しては、モニタリング実施の都度、林副団長及び野澤専門家部長が収集した情報を直ちに口頭で提供した。

イ 中間報告

11月1日までの活動結果を、11月4日(火)ジャカルタで、林副団長がスヨノBAKORNAS次官、BPPT関係者、川上大使及び諏訪JICA事務所長に対し、中間報告を実施した。

ウ 最終報告

- (ア) 11月9日(日) BPPT主催の昼食会で、石田団長がインドネシア森林火災対策の関係者に対し、日本隊の活動内容を報告した。
- (イ) 11月10日(月) 団長以下チーム代表が、日本大使館、BAKORNAS等を表敬訪問し、モニタリング結果を報告した。

別添え

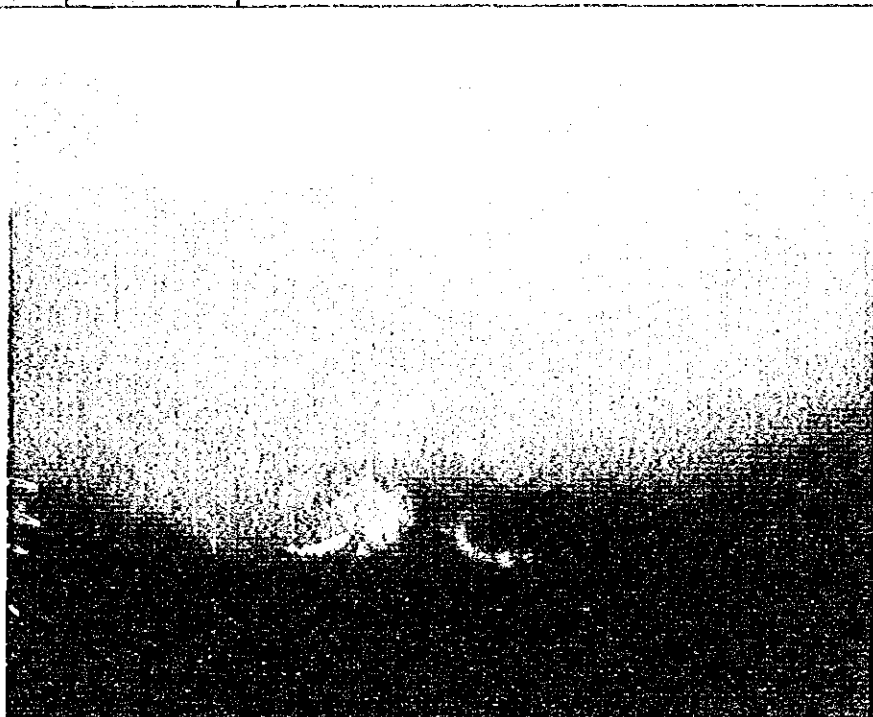
ホットスポット調査一覧表 (SURVAY OF HOT SPOT)

火災 No SPOT No	調査日時 TIME OF SURVAY	位 置 LOCATION	方 位 DERECTION	空港から の距離 DISTANCE AIRPORT	ビデオ の有無	再調査 有 無 NECESSITY OF MONIT
1-1	10月30日 9:58	E 101° 49 S 5° 15	270°	27マイル	無	無
1-2	10月30日 11:15	E 101° 44 S 5° 11	280°	27マイル	有	有 11/6再調査
2-1	10月30日 10:19	E 101° 44 S 5° 10	280°	27マイル	無	無
2-2	10月30日 10:19	E 101° 44 S 5° 10	280°	27マイル	無	無
3	10月30日 10:25	E 101° 44 S 5° 9	282°	27マイル	無	無
4	10月30日 12:10	E 101° 41 S 5° 11	276°	30マイル	有	無
5	10月30日 9:45	E 101° 49 S 5° 15	266°	21マイル	有	消火済
6	10月31日 9:56	E 101° 49 S 5° 29	215°	31マイル	有	無
7	10月31日 10:12	E 101° 22 S 5° 38	210°	53マイル	有	有
8	10月31日 12:41	E 101° 26 S 5° 9	276°	44マイル	有	有
9	10月31日 12:54	E 101° 22 S 5° 9	277°	48マイル	有	無
10	10月31日 13:00	E 101° 21 S 5° 7	279°	50マイル	有	無
11	10月31日 13:13	E 101° 06 S 5° 3	281°	61マイル	有	有
12	10月31日 13:23	E 101° 19 S 5° 3	282°	51マイル	有	有
13	10月31日 13:31	E 101° 33 S 5° 6	283°	37マイル	有	無
14	10月31日 13:36	E 101° 39 S 5° 9	281°	30マイル	無	有 11/6再調査
15	11月 1日 10:12	E 101° 57 S 5° 11	286°	14マイル	有	無 11/6再調査
16	11月 1日 11:00	E 101° 28 S 4° 51	300°	47マイル	有	無
17	11月 1日 11:11	E 101° 28 S 4° 53	297°	47マイル	有	有 11/6再調査
18	11月 1日 11:16	E 101° 32 S 4° 55	300°	44マイル	有	有
19	11月 1日 13:10	E 105° 34 S 5° 15	90°	24マイル	有	有
20	11月 1日 13:16	E 105° 37 S 5° 13	90°	38マイル	有	有
21	11月 1日 13:45	別 図 参 照	90°	—	有	有
22	11月 1日 13:31	別 図 参 照	45~90°	—	有	有
23	11月 2日 10:00	E 105° 39 S 4° 38	33°	46マイル	有	有
24	11月 2日 10:05	E 105° 34 S 4° 29	25°	50マイル	有	有
25	11月 2日 10:22	E 105° 07 S 4° 26	330°	49マイル	有	無
26	11月 4日 10:08	E 105° 11 S 5° 35	178°	21マイル	有	無

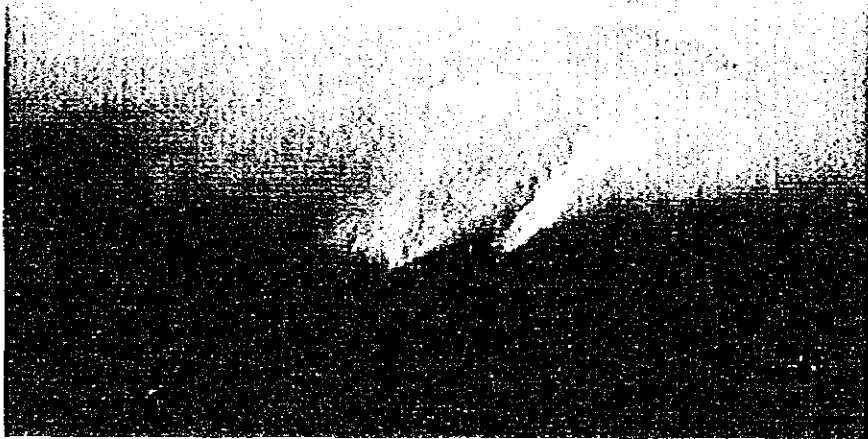
※ 森林火災としての定義

森林の計画的育成や開発に伴う野焼きは、通常道路等で防火帯を設け伐採倒木し、乾燥を待ってから行われるものであり、防火帯が設けられていない青く繁った雑木が燃焼拡大の様相を呈している場合は、人のコントロール下に置かれていない「森林火災」と判断した。

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 1-1	
			
(衰州消火チームの任意番号はP49)			撮影方位 南
			ビデオの有無 無
調査月日	10月30日(木)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 判別できず</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢であり延焼方向についても不明である。</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 保安林内に位置し、近くに集落や田畑が見られな い箇所の火災で、入山者による火の使用が原因と考 えられる。比較的新しいホットスポットで、複数確 認できたが、中心的な箇所をオーストラリア隊のエ アトラフター802Aが消火を行っている。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。</p>	
気象状況	晴		
日付時間	開始9時30分から 終了10時30分まで		
調査時刻	9時58分		
場所	E101°44 S 5°11		
方位	270度(磁北点)		
距離	空港から27マイル		
経過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 1-2	
			
(豪州消防チームの任意番号はP49)			撮影方位 南
			煙の有 有
調査月日	10月30日(木)	火災の状況(実態の把握) 1 延焼範囲 約20ha 斜面全方向 2 延焼速度と方向 緩慢 山頂に向けてゆっくり 3 燃焼の形態〔樹木(植性)・地表面〕 当地域は保安林内で周囲の森林は荒れておらず、 火災が所々に発生しており比較的新しいホットスポットと思われる。ヘリから炎は確認できず出火原因等も考えられる。 4 河川等の防火帯の有無 無 5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。	
気象状況	晴		
作業時間	開始11時30分から 終了12時30分まで		
調査時刻	11時45分		
場所	E104°44 S 5°11		
方位	280度(方位角)		
距離	空港から27マイル		
経過	再調査(11月6日) 1 火点が若干東へ移動している。 2 現在、大きく3カ所の火点が認められる。		

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 2-1

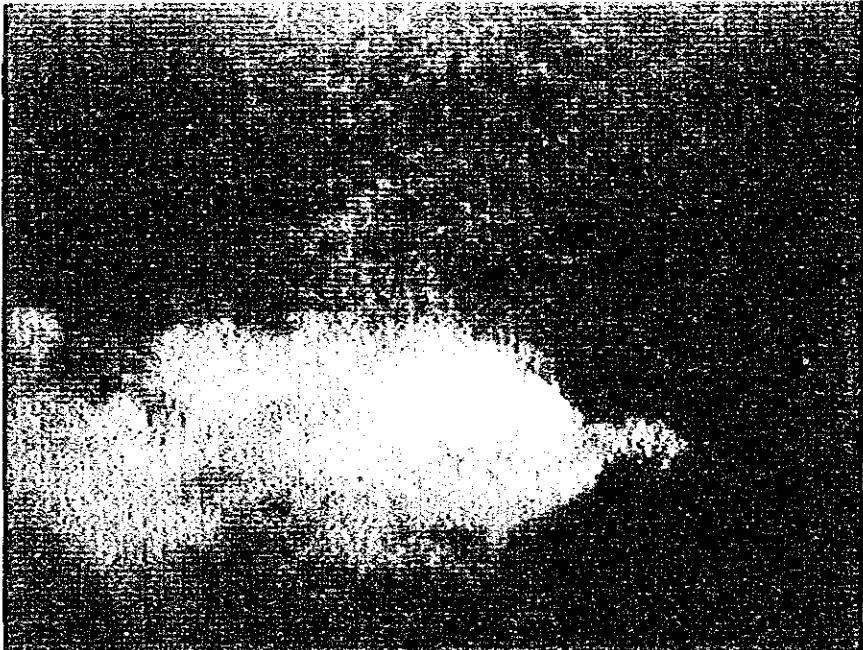


撮影方位 西 ビデオ機 無


調査月日	10月30日(木)	火災の状況(実態の把握) 1 延焼範囲 不明 斜面西側 2 延焼速度と方向 不明 3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 乾燥した雑木林で樹木の密度が低い。過去に幾度か火が入っている可能性が高い。保安林内に位置する。 4 河川等の防火帯の有無 無 5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。火点付近には無し。
気象状況	晴	
作業時間	開始9時30分から 終了10時30分まで	
調査時刻	10時19分	
場所	E 104°44 S 5°10	
方位	280度(方位磁)	
距離	空港から27マイル	

経過

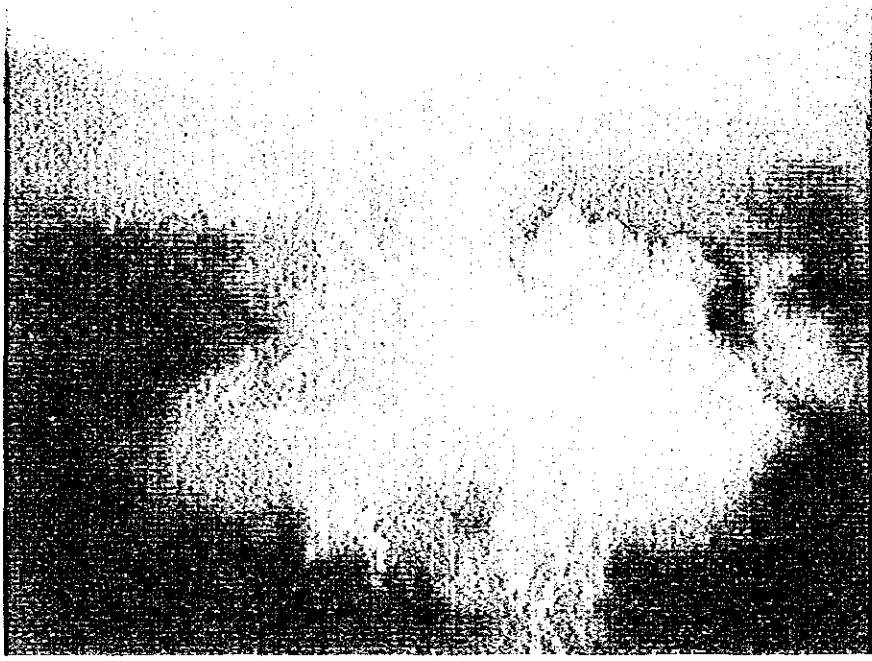
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 2-2	
			
			撮影方位 東
			ビデオの有無 無
調査月日	10月30日(木)	火災の状況(実態の把握) 1 延焼範囲 不明 斜面東側 2 延焼速度と方向 不明 3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 人為による攪乱の少ない深い雑木林で炎は確認出来ない。当地域は保安林内で入山者の火の使用による火災の可能性が考えられる。比較的、新しいホットスポットと思われる。 4 河川等の防火帯の有無 無 5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。火点付近には無し。	
気象状況	晴		
万什時間	開始9時30分から 終了10時30分まで		
調査時刻	10時19分		
場 所	E 104° 44 S 5° 10		
方 位	280度(磁北)		
距 離	空港から27マイル		
経 過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 3	
			
		撮影方位	西
		ビデオの有無	無
調査月日	10月30日(木)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 斜面西側</p> <p>2 延焼速度と方向 延焼速度は緩慢であり、延焼方向についても不明である。</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 当地域は深い雑木林で(保安林内)人為による攪乱は少ない。入山者の林内での火の使用による火災の可能性が考えられる。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。</p>	
気象状況	晴		
作業時間	開始9時30分から 終了10時30分まで		
調査時刻	10時19分		
場所	E 104° 44 S 5° 9		
方位	282度(方位角)		
距離	空港から27マイル		
経過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 4
		
		撮影方位 南
		どけいの有 有
調査月日	10月30日(木)	火災の状況(実態の把握) 1 延焼範囲 斜面北・南側 2 延焼速度と方向 延焼速度は緩慢であり、方向にあっても不明である。 3 燃焼の形態〔樹木(植性)・地表面〕 当地域は保安林で、荒廃した雑木林である。比較的時間の経過したホットスポットであり、焼き畑の火入れからの延焼の可能性が高い。 4 河川等の防火帯の有無 無 5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。
気象状況	晴	
万什時間	開始11時30分から 終了12時30分まで	
調査時刻	12時10分	
場 所	E 104 ° 41 S 5 ° 11	
方 位	276 度(北北西)	
距 離	空港から 30 マイル	
経 過		

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 5



(オーストラリア隊の任意番号はP62)

撮影方位 南

ビデオの有

無

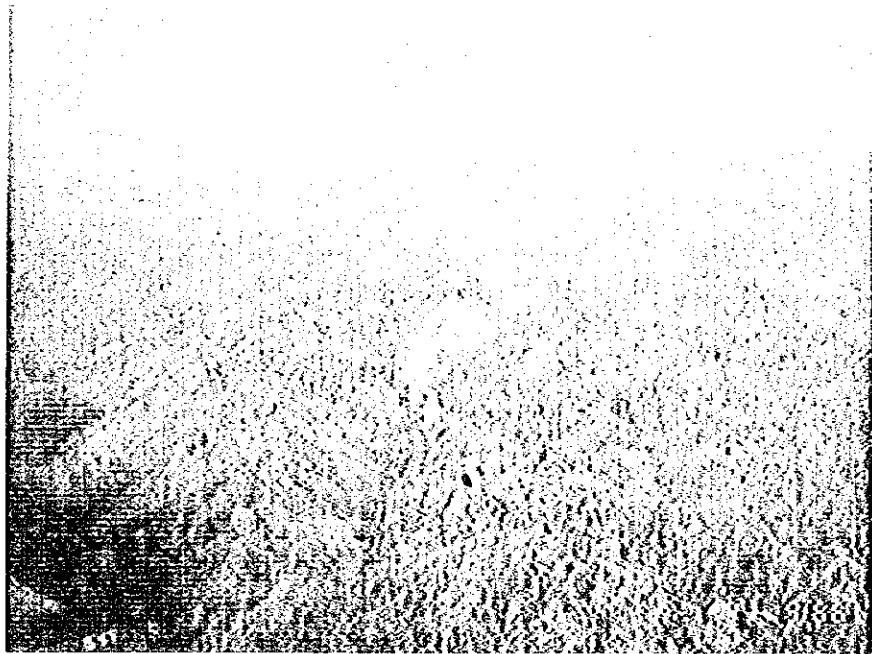
調査月日	10月30日(木)	火災の状況(実態の把握) 1 延焼範囲 約100haの消火痕 斜面(南側) 2 延焼速度と方向 緩慢、早い、急・方向 3 燃焼の形態〔樹木(植性)・地表面〕 全体が雑木林。過去、複数回にわたって火が入ったと思われる。出火原因としては、プランテーション造成のための野焼きも考えられる。 山全体に大規模な消火痕あり。10/29のフライト時煙が確認出来たが、現在は完全に無くなっている。オーストラリア隊の消火活動が有効であったと思われる。 4 河川等の防火帯の有無 無 5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に認められるが、火点付近は特に無し。
気象状況	晴	
作業時間	開始9時30分から 終了10時30分まで	
調査時刻	9時45分	
場所	E104°49 S05°15	
方位	266度(磁北)	
距離	空港から21マイル	

経

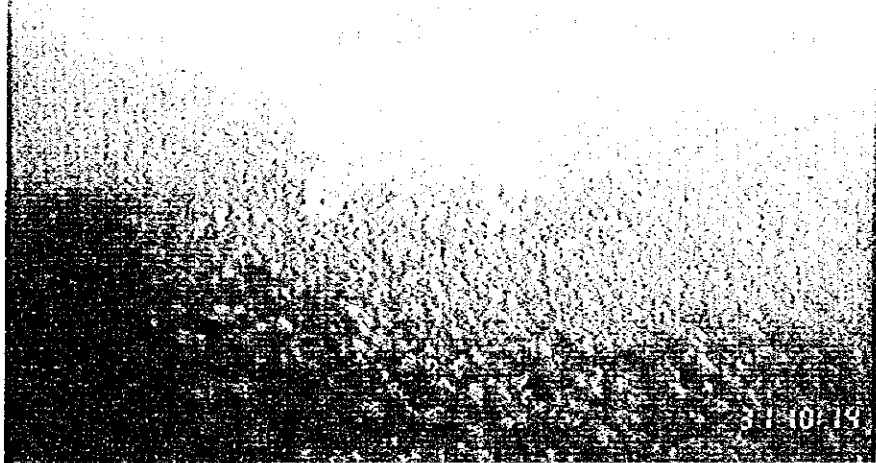
本ポイントは、オーストラリア隊に対して、誘導等を含め情報提供を行っておりまた、消火効果についても写真及びビデオにより結果情報を提供している。

過


ホットスポットの状況及び推移調査表

火 災 番 号		No. 6
		
		撮影方位 南東
		ビデオの有 有
調査月日	10月31日(金)	火災の状況(実態の把握) 1 延焼範囲 小規模 平地・斜面(北) 2 延焼速度と方向 緩慢 3 燃焼の形態〔樹木(植性)・地表面〕 丘陵地で人が入った道が出来ている。住民が意図的に下草の焼き払いをした際の残り火であることが考えられる。付近は伐採が進んでいて荒地化しており、急激に燃え広がる恐れがある。 4 河川等の防火帯の有無 無 5 ヘイズ(煙害)の状況 無
気象状況	晴	
万休時間	開始9時30分から 終了11時00分まで	
調査時刻	9時56分	
場 所	E104°49 S 5°29	
方 位	245度(北北西)	
距 離	空港から31マイル	
経 過		

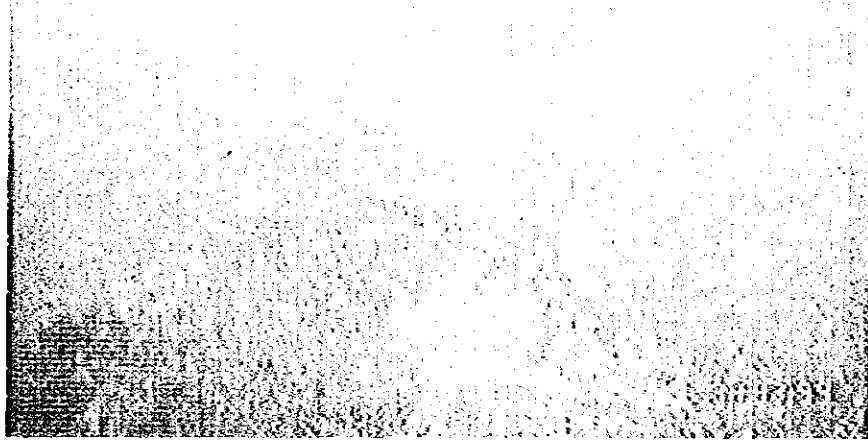
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 7
		
		撮影方位 西 ビデオの有 有
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 大規模点在 平地・斜面(緩西)</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 国立公園に繋がる保安林で火点は4か所で点状に広がっている。集落近くの森ではあるが焼畑ではない。木の幹が見え透けているため、人の手が入り込んで、伐採、狩猟をしている可能性がある。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>
気象状況	晴	
方什時間	開始9時30分から 終了11時00分まで	
調査時刻	10時12分	
場 所	E104°22 S 5°38	
方 位	240度(鈍角)	
距 離	空港から53マイル	
経 過		

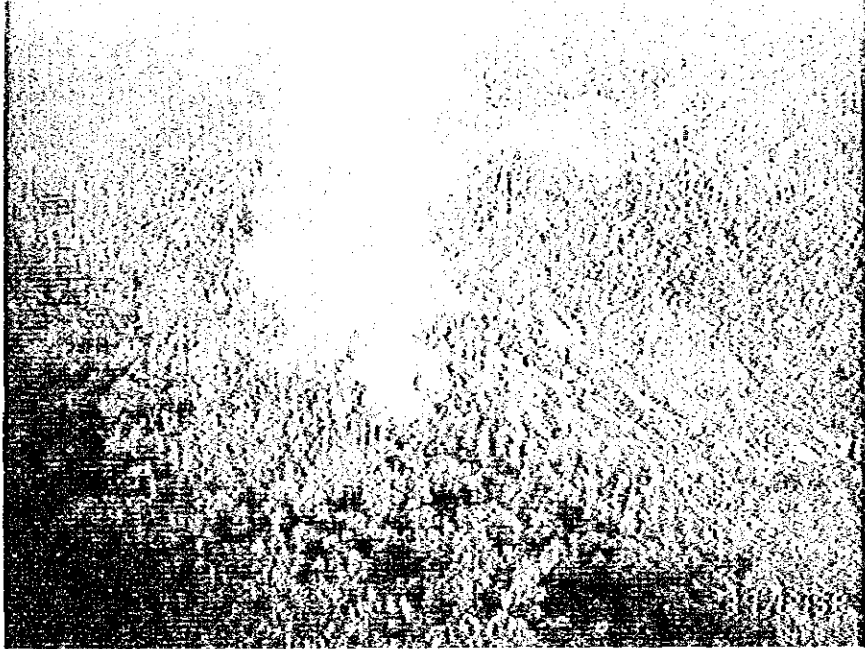
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 8	
			
		撮影方位	東
		ビデの有	有
調査月日	10月31日(金)	火災の状況(実態の把握) 1 延焼範囲 5ha 山頂付近 2 延焼速度と方向 早い 3 燃焼の形態〔樹木(植性)・地表面〕 火点は山頂付近で道沿いに焼いている痕跡が見られるため、人為的に起こった可能性が大である。現在は規模的に小さいものの、山間部であるため強風が起これば急激に延焼する危険が大きい。また周囲の樹木が枯れているため油断はできない。 4 河川等の防火帯の有無 無 5 ヘイズ(煙害)の状況 無	
気象状況	晴		
万休時間	開始12時 30分から 終了13時 55分まで		
調査時刻	12時44分		
場所	E104°26 S 5°09		
方位	276度(磁北)		
距離	空港から44マイル		
経過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 9	
			
			撮影方位 南
			ビケの有 有
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 5ha 丘陵地の尾根</p> <p>2 延焼速度と方向 比較的緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 白煙が認められる周囲には焼畑の痕が複数箇所見られるが、最近に火入れをした形跡がないことから狩猟等のたき火が燃え移ったものと思われる。樹木が青々としており湿気が多いため延焼速度は比較的小さい。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>	
気象状況	晴		
万什時間	開始12時30分から 終了13時55分まで		
調査時刻	12時54分		
場所	E104°22 S 5°09		
方位	277度(磁北)		
距離	空港から48マイル		
経過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 10	
			
		撮影方位	西
		ビデオの有無	無
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 3ha 丘陵地の西斜面</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態〔樹木(植性)・地表面〕 現場は畑地に挟まれた地点で、火入れが最近行われた形跡はない。白煙の上昇が認められるが棒状でないため、燻焼していると思われる。山麓から燃え上がったようであり、尾根に沿って燃え広がる可能性がある。原因は野火である可能性が大きい。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>	
気象状況	晴		
万休時間	開始12時30分から 終了13時55分まで		
調査時刻	13時00分		
場所	E104°21 S 5°07		
方位	279度(空焚き点)		
距離	空港から50マイル		
経過			